



光村図書が提案する これからの国語 確かな語彙力で学びを支える

主体的・対話的で
深い学び

情報の扱い方

読む力

何が求められているの？

[保護者]

SNSでの言葉の行き違いは、語彙力のせいなんじゃないかな。

[学校の先生]

語彙が不足しているから、文章をいくら書かせてもうまくいかない。

[社会]

2015年の学習到達度調査(PISA)では、読解力の平均点が有意に低下した。読解力向上には、それを支える語彙力の強化が欠かせない。

国際学力テスト
読解力を上げるには、まず語彙力から

〔「深い学び」の視点〕

中央教育審議会 答申
平成28年12月21日

・「深い学び」の実現に向けて、……特に、思考を深めたり活性化させたりしていくための語彙を豊かにすることが重要である。

新学習指導要領

1年	<p>事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>
2年	<p>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>
3年	<p>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>

ポイント1
使いながら
言葉を学ぶ

ポイント2
思考力や
表現力に
つながる語彙

ポイント3
質・量の充実
言葉を選ぶ

光村発! 指導のポイント

光村図書編集委員 港区立赤坂中学校教諭
甲斐利恵子

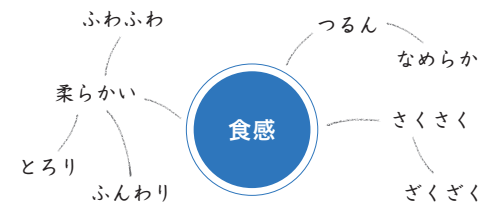


光村の教科書は、一貫して「**文脈の中で言葉を学ぶ**」ことを大切にしてきました。単語や意味を暗記しただけでは、「使える」言葉にはなりません。場面や状況、文脈の中に息づく生きた言葉を、**用例ごとと身体に取り込む**ことが重要です。

私はいつも、生徒がびったりの言葉を選んだ瞬間を捉えて教材にしています。優れた用例を声に出して復唱させたり、他の言葉に言い換えさせたり、類義語と比較させたり……。『より適切な言葉があるはず。』『少しニュアンスが違う。』と生徒が**言葉に立ち止まって試行錯誤**することに意味があるのです。このような試行錯誤は、生徒の言語感覚を研ぎ澄まし、生徒が自分自身を語る言葉を自ら育てることにつながります。



● マップで語彙を広げる



● 思考と語彙を関連づける

この傘は使いやすい。

具体化

- 例えば
- 具体的には

抽象化

- つまり
- 要するに

- 軽くて、持ち運びに便利である。
- ボタン一つで畳んだり、広げたりできる。
- 水を弾きやすく、すぐ乾く。

光村図書編集委員 早稲田大学教授
森山卓郎



語彙とは、語の集合のこと。言語においては、「語の相互の関係」が大切です。そこで語彙マップのような取り組みが重要になります。**関係性を意識しながら多くの語と触れる**ことで、理解語彙を増やすことができます。さらに、他の語との違いや用法（辞書では例文が重要!）などの特質を理解していくことで、それらが使用語彙となっていきます。**意味・用法の違いを意識**できれば、表現力が向上するだけでなく、語彙からの分析的な読解もできるようになります。また、思考概念語彙（「根拠」「抽象」など）や思考展開語彙（「なぜなら」「例えば」など）を使えるようになれば、**思考力も高まります**。語彙力は学びの基盤の一つといえるのです。

